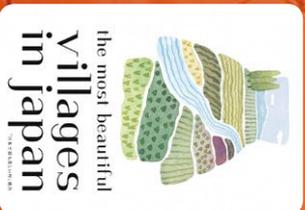


の 議会だより

松 崎

No.133

令和3年10月28日



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



議会だより、定例会一般質問動画は松崎町議会議事録でも視聴可能です。

「彫刻ラインの夕日」

《主な内容》

第3回定例会（9月7日～9月10日）

令和2年度決算審議……………2

令和3年度補正予算……………5

町政を問う 一般質問に6議員……………8

令和3年9月定例会

令和3年第3回定例会が9月7日から4日間にわたり開催されました。

定例会では、令和2年度の一般会計および特別会計決算など17議案について審議を行い、16議案について原案のとおり可決・認定し、1議案を修正可決しました。

令和2年度 一般会計 決算審議

歳入総額は47億6407万8千円、歳出総額45億6223万9千円、翌年度への繰越額6065万6千円で、実質収支額は1億4118万3千円の黒字決算となった。

歳入

問 近年空き家が増えていく。固定資産税課税にあたり、所有者の把握はできているのか。

また、長期間不在のため危険な状態となった空き家について、対策はどのようにしているのか。

答 窓口税務課長 毎年四千数百通の納税通知を発送しており、その内あて所不明で数十通が返戻されている。それらについては、その都度住所地調査を行うなど適切に対応している。

答 産業建設課長 現在、本年度中の策定を目安に、

国の空き家等対策特別措置法に基づき、対策計画を作っており、その中で対応を検討していく。

問 近年、銀行や保険証利用などマイナンバーカードが注目されている。松崎町ではどのくらいの交付実績があるのか。

また、今後の交付促進に向けた取り組みは。

答 窓口税務課長 マイナンバーカードの累計交付枚数は、令和3年3月末時点で1832枚。約30%に相当し、全国・県平均を若干上回っている状況にある。今後、国民健康保険証や免許証など多目的に使用できるようにになると、さらに交付が促進されると思われる。このため今後は、窓口の休日開設などの交付対応も検討していく。

問 マイナンバーカードを保険証などで使用できるようにするための手続きは、窓口で簡単にでき

るのか。

答 窓口税務課長 マイナンバーカードは、そのままでは保険証利用できず、窓口で交付の際に意向確認をし手続きしている。また、インターネットから、簡単な操作で利用申込みすることもできる。

問 伊豆まつぎ荘に運転資金を貸し付けているが、その利率はどのような根拠で定めているのか。

答 総務課長 町の財政担当部署において、その時々々の国債やその他の市場利率などを参考に決定している。また、年度ごとに必要に応じ利率の見直しも行っている。

問 前年度に比べ地方交付税が増えているが、その要因は何だと考えるか。

答 総務課長 地方交付税が前年と比べ1億1600万円程増えている。これは、人口減少に直面している自治体への措置

として、地域社会の持続可能性に積極的に取り組むための、地域社会再生事業費という項目が増えたことが主な要因となっている。

問 固定資産税課税にあたり、どのような基準で地目（農地）を認定しているのか。

答 窓口税務課長 地目（農地）の認定にあたっては、農業委員会への届出・申請などを基に、現地の状況や用途を確認して地目の認定を行っている。



9月定例会 議場の様子

歳出

問 以前、出産準備祝い品としてのロマン券が使

いにくいという質問をしたが、その後、どのような取り組んでいるのか。

答 健康福祉課長 現在

出産祝い金は現金で、出産準備祝い品・子育て支援祝い品については、お祝いと併せ、町内経済の活性化を図ることを目的に松崎町のロマン券で交付している。町内業者との兼ね合いもあるが、今後使いやすいようになるような工夫をしていく。

問 ふるさと納税返礼品の発送にあたり、配送業者を集約し、交渉にあたることにより、発送コストを削減し、更に集配が依頼できるようにするなどサービスが向上する事が期待できるがその取組状況は。

答 企画観光課長 これまで、複数の配送業者に

あたり調整を行ったが、細かな問題点が発覚し、まだ実現に至っていない。今後も引き続き取り組んでいきたい。

問 空き家調査委託の結果はどのように活用されているのか。

答 企画観光課長 調査

結果を基に、空き家のリンクや所有者を調べており、今後所有者に連絡を取っていく。

問 空き家改修事業の取組状況は。

答 企画観光課長 改修

にあたっては、空き家バンクへ登録していただいている。令和2年度の実績は、7件の改修と2件の家財処分を実施した。

問 支払者の利便向上のため、国保税や水道料のカード払いの対応を検討してはどうか。

答 生活環境課長 水道

料金については、口座振替を利用されている方が

8割強と大半を占めている。支払方法が増えるると利便性も向上するが手数料が増加してしまう。このことから、今のところコンビニ収納やカード支払などの対応は考えていない。

答 窓口税務課長 国保

税については、他の税目と同様コンビニエンスストア収納に対応している。今年度からは、スマホ決済を始めている。

問 台風関連の職員時間外手当が相当大きな額になっている。職員数が減少している中で職員の負担は増していると思う。

答 今年も台風シーズンを迎

え、町長はどのような対策を考えているのか。

答 町長 今までの防災

対策プラスコロナ対策をしつかりやっていく。

問 松崎海岸陸間操作業

務委託は消防団に任せているとのことだが、その概要について説明願いた

い。

答 総務課長 松崎海岸

の陸間は、大型2基、小型8基の計10基の管理を消防団に委託している。

消防団は、月に1度陸間の開閉・点検・清掃を行っている。加えて別途、県

が専門業者による開閉点検も行っている。

問 来年1月の成人式に

ついて、実現に向けての具体的な対策は。

答 教育委員会事務局長

また検討の段階ではあるが、現時点では、成人式を実施する方向で準備を進めている。しかし、今後緊急事態宣言の延長

など、新型コロナウイルス感染症感染拡大が懸念される場合は、方針を変

更し中止なども検討しなければならなくなるかもしれない。

問 町内の観光案内板が

老朽化あるいは掲載状況が古く、現状とあっていないものがある。撤去す

るなり新たな情報に書き換えるなどの対応が必要だと思うがどうか。

答 企画観光課長 不要

な案内板については撤去を検討する。また、『観光と防災』をテーマに静

岡大学のフィールドワークで学生たちが町内で活動しているの、彼らと

のコラボレーションで対

応していく方向も考えている。

問 幼稚園児の送迎のため、園バスの乗降場所

が役場正面のみになっている。もっと、きめ細やかな乗降場所を検討すべきではないか。

答 教育委員会事務局長

現在の乗降場所は、園児の安全な乗降のための広さや、送迎する保護者の駐車場の有無などを考慮し、PTAの協議による申し出で設定した経過

がある。今後保護者からの申し出があるようであれば、検討していくこと

としたい。

国民健康保険 特別会計

歳入総額9億7531万2千円、歳出総額9億4693万3千円で2837万9千円の黒字決算となった。

問 住民に対し基本的な健康対応策として、特定健診、生活改善などの予防医療に力を入れていくことが重要なのではないかと。

答 健康福祉課長 病気にかかってしまうと治療費が発生してしまうため、その手前で抑えるという意味で、健康を維持し病気を抑制することが大事だと考える。今後とも管理栄養士を中心にして、食育に力を入れるとともに、コロナが収束した後には、積極的に学校や地域に出向き指導に力を入れていきたい。

問 国保の加入者が年々

減少してきている中で、高額医療費が増加している傾向にある。支える方が減って費用が増加しているということだと思いが、今後の国保会計は健全に維持できるのか。

答 健康福祉課長 国民健康保険は、平成30年度から静岡県が運営主体となっている。このため、かかった医療費の費用額は、県から支給されることとなる。かかった費用額は、その後3力年間で平均した金額を町が県に納付する。これにより費用額の急激な上昇が抑えられ、町単独だった頃と比べ、比較的安定して運営できる体制となっている。しかし、この状態がさらに続くようであれば、今後国保税の見直しを検討をしなければいけない事態が発生することは予想される。

問 特定健診の受診率が上がると、保険者努力支援分にどの程度反映され

るものなのか。

答 健康福祉課長 具体的に受診率がどれだけ上がれば努力支援分がどれだけ増えるということについては、この場では分からない。しかし、他の市町も同じように受診率が上昇していれば、結果はあまり変わらないと思われる。このため、今後町独自として受診率向上の工夫を模索していく必要がある。

問 コロナの関係で特定健診が予約制になった。予約制になると、受診率は下がるが、受診時の待ち時間が少なくなるため、受診者には好評だと聞いている。そこで、コロナ収束後の健診は、どのようなスタイルで行うことを想定しているのか。

答 健康福祉課長 コロナの影響により特定健診が予約制になったことで、1日に受けられる人数が限定された。健診を受けた方の感想を聞いた

ところ「待ち時間が少なくて良かった」と言った声が多かった。今後コロナが収束し、余裕を持った健診日程を組むことが可能となれば、受診者に好評な予約制を進めていきたいと考えている。

また併せて、賀茂医師会との調整を行いながら、本年度取り組んだ、2病院での個別健診（受診）も引き続き進めていき全体的な受診率向上につなげていきたい。

介護保険 特別会計

歳入総額9億6871万8千円、歳出総額9億6793万円で、78万8千円の黒字決算となった。

その他特別会計

◎後期高齢者医療特別会計 歳入総額1億241

6万8千円、歳出総額1億2409万8千円で7万円の黒字決算となった。

◎岩地集落排水事業特別会計 歳入総額540万円、歳出総額492万円で48万円の黒字決算となった。

◎石部集落排水事業特別会計 歳入総額482万6千円、歳出総額397万9千円で84万7千円の黒字決算となった。

◎雲見集落排水事業特別会計 歳入総額1876万円、歳出総額1868万9千円で7万1千円の黒字決算となった。



一般会計補正予算

補正予算(第4号)は、歳入歳出にそれぞれ1億3634万6千円を追加し、補正後の額を4億464万3千円とした。

補正予算(第4号) 修正可決

本議案において、岩科診療所建設工事修正設計業務委託110万円を削除する修正動議が提出され、賛成多数で修正案を可決した。

診療所開設については、債務負担行為承認の根拠となる指定管理者との協定書が、コロナ感染拡大による延期のため検討が進んでおらず、そのような中で修正設計業務委託を行うことは、準備不足であり時期尚早であると判断し、まずは指定管理者との協定書の合意を確実に進めるべきとした。

問 児童館照明改修工の具体的な内容は。

答 健康福祉課長 児童館全体の天井照明を取り替える工事。灯具をLED照明に変更するとともに、以前児童館の委員会で指摘のあった灯具の落下防止カバーを取り付ける。

問 プレミアム商品券事業について、プレミアム率100%3千冊ではなく、50%6千冊の方が地域により多くのお金が回り、経済効果があると思うが。

答 企画観光課長 議会全員協議会で同様な意見をいただいたことから、商工会役員と打ち合わせしたところ、今回はぜひプレミアム率100%でやってみたいとのことであった。実施主体が商工会ということもあり、今回はこの内容で実施させていただきたい。

問 診療所修正設計業務委託について、協定書の内容が煮詰まっていらないと考えるが。

答 健康福祉課長 協定書については、以前から地域医療振興協会と協議しており、今議会の全員協議会でみなさんに案を提示させていただいた。まだまだ最終段階ではないが、議会のご意見も伺いながら、今後も引き続き地域医療振興協会と調整していく。

問 診療所工事は、協定書ができあがってからはないと着手できないものなのか。

答 健康福祉課長 岩科診療所は、令和5年4月の開院を目指して工事を進めることとなっている。令和元年度に作成済みの設計は、作成から時間が経過しているため、令和4年度の工事発注にあたり設計金額を精査する必要がある。今後精査

後の金額を使って、過疎債や補助の申請も行うことを予定している。

一方実際に開院し営業するにあたっては、議会が債務負担行為を承認していたことが必要不可欠となる。承認していただくにあたっては、しっかりと精査された協定書が締結されていることが前提となる。このため両方の準備をしっかりと進めていく必要があると言えらる。

問 ワクチン接種送迎用のバス借上料は、なぜカットするのか。

答 健康福祉課長 ワクチン接種にあたり、マイクロバスを借上げ送迎付きとすることでワクチン接種が促進されることを想定した。ところが実際には、申込みが少なく、庁用車を使用しての送迎で対応できたため、この費用を減額補正する。

その他の補正予算

◎国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

補正予算(第1号)は、歳入歳出に606万5千円を追加し、補正後の額を9億9776万5千円とした。

◎後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正予算(第1号)は、歳入歳出に192万8千円を減額し、補正後の額を1億2197万9千円とした。

◎介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正予算(第1号)は、歳入歳出に739万2千円を追加し、補正後の額を10億465万5千円とした。

3会計とも前年度決算による繰越金の確定や、保険料本算定による増減、新型コロナウイルスに伴う保険料の減免などによる内容。

公の施設の指定管理
(伊豆まつぎ荘)

問 施設の運営について、サービスを向上させる取り組みとして、接遇などの研修の取り組みは。

答 企画観光課長 本来であれば指定管理者にすべて任せてしまう部分ではあるが、昨年度から、町も積極的にまつぎ荘に関わっていく方針とした。このため、利用者にも喜んでもらえる施設となるよう、町も積極的に職員の育成に取り組んでいく。まずは、9月末までの新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の期間を活用して何らかの策を打ちたいと考えている。

問 まつぎ荘においては、質の高いサービス維持のため個々の職員にしっかりと経営理念を理解させ、施設運営にあたっていただきたいと考えるが。

答 企画観光課長 以前から議員のみなさんにご指摘いただいた『まつぎ荘らしいおもてなし』をマニュアル化することと併せ、個々の職員が目標を共有して業務に取り組みことで、統一感を持ったおもてなしができるようにしていく。

問 利用者の要望を把握するだけでなく、それを分析し実現可能性や優先順位をチェックし、実施するための仕組み、責任の所在が必要なのではないかと。

答 企画観光課長 その点については、非常に重要なことだと考えている。改善点、課題、要望などが把握できた後、どのように対処したのか、その結果どうなったのかなどをきちんとチェックできるように体制を構築していく。

問 町長は「農林水産業と観光の一体推進」と言っているが、現状一体推進できている状況とほ言いたい。そこで、まつぎ荘が松崎町の観光のお手本となるような意気込みで、これからの指定管理の5年間の運営にあたってもらいたいと考えているが、そのような決意はあるか。

答 町長 大変ありがたい言葉だと受け止めている。私が、これまで推し進めてきた『農林水産観光業の一体推進』は、未だ道半ばである。今後もしっかりと取り組んでいく。

問 町長は松崎町振興公社の理事長でもある。本来であれば、まつぎ荘が独立採算でやっていくことが望ましいが、現状そうなっていない。そこで、これからのまつぎ荘の運営について、どのように取り組んでいくつもりなのか。

答 町長 議員のみなさんからいただいた意見も参考にしながら進めていきたいと考えている。まつぎ荘は、松崎町の代表的な宿泊施設であり、おもてなし、明るい雰囲気、地元の食材を使ったおいしい料理は、必須である。さらに今後は、誰が見ても「あそこなら大丈夫だ」と言われるようなおもてなしができるよう、個々の職員を育てていき、職員が自信を持って働いていけるよう指導して行きたい。引き続き、議員のみなさんも温かい目で見守っていただきたい。

計 画

◎松崎町過疎地域持続的発展計画について
第6次となる過疎法

「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」(令和3年4月1日施行)の制定に伴い、令和3年度から令和7年度までの新過疎計画「過疎地域持続的発展計画」を策定するもの。地方債の特例(過疎債)など過疎法に基づく支援措置を受けるために必要な計画。

条 例

◎松崎町過疎地域持続的発展対策に伴う固定資産税の特例措置に関する条例
新過疎法(過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法)を活用した地域振興策の一環として、町内の製造業、旅館業、農林水産物等販売業、情報サービス業等の用に供する設備を取得などし

問 まつぎ荘においては、質の高いサービス維持のため個々の職員にしっかりと経営理念を理解させ、施設運営にあたっていただきたいと考えるが。

答 町長 大変ありがたい言葉だと受け止めている。私が、これまで推し進めてきた『農林水産観光業の一体推進』は、未だ道半ばである。今後もしっかりと取り組んでいく。

問 町長は松崎町振興公社の理事長でもある。本来であれば、まつぎ荘が独立採算でやっていくことが望ましいが、現状そうなっていない。そこで、これからのまつぎ荘の運営について、どのように取り組んでいくつもりなのか。

答 町長 議員のみなさんからいただいた意見も参考にしながら進めていきたいと考えている。まつぎ荘は、松崎町の代表的な宿泊施設であり、おもてなし、明るい雰囲気、地元の食材を使ったおいしい料理は、必須である。さらに今後は、誰が見ても「あそこなら大丈夫だ」と言われるようなおもてなしができるよう、個々の職員を育てていき、職員が自信を持って働いていけるよう指導して行きたい。引き続き、議員のみなさんも温かい目で見守っていただきたい。



た事業者について、固定資産税の特例措置（3年間の課税免除）を定めるもの。

◎松崎町手数料徴収条例の一部を改正する条例

「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律（令和3年法律第37号）」による、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号）」が改正され、個人番号カードの再発行手数料徴収事務が委託契約になることに伴い、手数料徴収条例の一部を改正するもの。

◎松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

令和2年度に国の財政支援を受け実施した、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者などに係る国民健康保険税の減免に

ついて、10分の10ではないが、国の財政支援が継続されたため、附則の一部を改正し、令和3年度も減免を実施するもの。

◎松崎町介護保険条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者などに係る、介護保険料の減免について、令和3年度の減免に対する国の財政支援が示されたため、附則の新型コロナウイルスの特例に、令和3年度分の保険料についても減免の対象となるよう、一部を改正するもの。



第3回定例会の賛否状況一覧

議案番号	件名	議員								議決状況
		田中道源	鈴木茂孝	小林克己	深澤守	高柳孝博	藤井要	土屋清武		
議案第55号	松崎町過疎地域持続的発展計画について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第39号	松崎町過疎地域持続的発展支援に伴う固定資産税の特例措置に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第40号	松崎町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第41号	松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第42号	松崎町介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第43号	令和3年度松崎町一般会計補正予算（第4号）について（修正案） 令和3年度松崎町一般会計補正予算（第4号）について（修正案を除く原案）	○	○	○	○	×	○	○	○	修正可決
		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第44号	令和3年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第45号	令和3年度松崎町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第46号	令和3年度松崎町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	令和2年度松崎町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第48号	令和2年度松崎町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第49号	令和2年度松崎町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第50号	令和2年度松崎町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第51号	令和2年度松崎町岩地集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第52号	令和2年度松崎町石部集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第53号	令和2年度松崎町雲見集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第54号	公の施設の指定管理者の指定について（伊豆まつぎ荘）	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※賛成：○ 反対：×

町政を問う

問 遊休不動産の活用を

答 施設配置委員会で検討



藤井 要 議員



問 旧依田邸に残る住宅やホテル、廃校後も利用状況が少ない校舎、幼稚園など、このままでは荒廃していくだけであり、負の遺産にならないよう利活用の方針を示すべきではないか。

また、武道場（南区）は地震津波などの災害時に被害を拡大させる恐れがあり、解体処分すべきではないか。

答（町長） 小学校、幼稚園のように目的を終えた施設がそ

のままでは、維持管理に多額の費用がかかることが想定されるので、公共施設配置検討委員会で検討する。

ホテル、武道場の処分についてはは一步一步総合的に考えてやっていく。

問 町長は、元氣な高齢者が対象のサービス付き住宅を旧岩科小跡地に建てると言っているが、これも利用構想である。5カ年計画の中に入っていないのはなぜか。

問 桜葉の企業努力を民間の団体を応援

答（町長） 桑葉と桜葉の耕作面積などの現状は、3名を募集した地域おこし協力隊に、桜葉の企業化に向けた仕事に取り組んでいただくのも良いと思うが。

問 桜葉の企業努力を

答（町長） 放棄地が年々増加している中で、桑葉の耕作は増加、桜葉の耕作面積は減少している。桜葉は非常に良い産業であり特別支援学校伊豆松崎分校の学生、引きこもりの方々の解消と農福連携ができればと考えている。

答（産業建設課長） 3名の桜葉協力隊を募



災害時の被害拡大が懸念される武道場（南区）

答（町長） 計画にしつかり載せていないが岩科診療所のすぐ裏に高齢者住宅、横には幼稚園があり、高齢者の生きがいになるのではと考えた構想は依然として持っている。

集したが、町の要求と合わず、採用できなかった。

問 コロナ禍の教育方針は

答 生徒の学びを止めない

問 学校内でのコロナ感染対策とGIGA（ギガ）スクールによる子どもたちに与える身体的影響についての対策は。

答（教育長） 感染者が発生したこと

を想定した具体的な対応計画の作成と、未然防止対策に力を入れている。また、学校にいけない子どもたちを想定した家庭とのリモート授業も構想中であり、万全を期していく。

答（教育委員会事務局長） 端末を見てばかりでは目も姿勢も悪くなるので、緑を見ることが目の体操を行うなどしてからのケアに努めている。

問 岩科小避難所トイレ整備を

答 改修について検討中



鈴木茂孝議員



災害時避難所とされている旧岩科小学校

問 令和元年10月の台風で旧岩科小学校を避難所とした。その際、多くの住民からトイレへの苦情があったが、その内容をきちんと把握しているか。

答 (総務課長) 避難所にとつてトイレは最も重要である。旧岩科小学校のトイレ36基中、使用不可が13基である。

問 6月と9月の補正予算の査定でトイレの改修工事の予算は削られてしまったが、災害時に岩科地区が孤立するので診療所をつくりたいという町長が、なぜ岩科地区の避難所のトイレ整備を先延ばししているのか。

答 (町長) 先送りしているわけではなく、考えてはいるがいつやるかについて言うのは差し控える。

問 3月議会で災害時の電源確保のために提案したポータブル太陽光発電設備は検討されたのか。

答 (町長) 現段階でできる最善の策として、ソーラーパネルとポータブル電源を今回の補正予算に計上した。

問 松崎幼稚園の屋根への太陽光発電設備について今年度から過疎債が適用される可能性があり、検討してはどうか。

答 (教育委員会事務局長) 費用対効果を考えた上で対応したい。

問 災害時の避難場所として宿泊施設を利用した場合、宿泊料金について補助する考えはあるか。

答 (町長) 高齢者や障がい者、妊産婦など一定の条件で補助する自治体もあり、当町も検討していく。

問 花の三聖苑直売所は

答 診療所の開設を先に

問 花の三聖苑直売所について構想はあるとした

がら進めないのはなぜか。

答 (町長) コロナ禍により医療の充実を優先させるため、診療所の開設を先に行う。

問 赤字である大沢温泉依田之庄について黒字化するためにどのような工夫をしているのか。

答 (町長) 開業前に想定した入浴者数を下回る状況となっているが、お客様のご意見ご要望を真摯に受け止め、迅速に対応していく。

問 まつざき荘の運営は

答 オール松崎で対応

問 コロナ禍において売り上げを確保するためにどのようなことを考えているのか。

答 (町長)

振興公社だけに任せるとはならず、町としてもマーケット情報の収集や対策検討への助言など一致団結して進めている。

問 今回の商品券の目的は

答 年末商戦に向けて



小林 克己 議員



問 今回のプレミアム商品券の目的は。

答 (企画観光課長)

年末商戦に向けて行う。

問 商品券のプレミア分を住民税非課税世帯に対して無条件で配布してはどうか。また、要介護4以上の在宅で介護している家庭に対して介護用品を支給している。この支援事業に国は縮小・廃止を検討している。高齢者福祉の充実の面から、このような世帯へプレミア

多ければ抽選を行うので、公平である。

問 松崎町と松崎町ロマンシール共同組合と協働して、QRコードによる

地域内通貨への取り組みはあるか。

答 (企画観光課長)

商工会の方に打診したが、ランニングコストの面で対応できないとのことである。

問 差別的意図の発言か

答 差別ではない

問 前回の議会の回答で、「お金を使用していただく施設(直売所)から計画したが、議会の反対により進んでいない。そこで買い物をしない観光客やトイレだけの利用客は遠慮してくれ」という発言に、差別的に感じる

との声を聞く。魅力ある施設および魅力ある町づくりによって当町の交流人口を増やすべきではないか。差別的意図を持った発言であったのか。また、どのような人々に道の駅に来てもらいたいか。

問 どのような人が当町を選んでいいのか。

答 (町長)

お客様に対してどのような人をターゲットにしているというのではない。お客様を差別する考えもなく、当町を選んでいただく考えである。

問 どのような人が当町を選んでいいのか。

答 (企画観光課長)

半分以上リピーターだ

が、知名度は低い。

問 地元高校の必要性は

答 必要である

問 定員割れが続いている松崎高校だが、県へ地元高校の必要性と存続を話していくべきではないか。

答 (町長)

必要である。そのような危惧が高まったときには、積極的に県に申し出ていきたい。



前回発行されたプレミアム商品券



今後の調査の必要がある町有林



田中道源議員



問 町有林の整備について

答 内部で調査を進める

問 普通財産と行政財産の他に町有林はあるのか。

答 (町長) 台帳地目が原野で現況山林が約187ヘクタールあった。

問 現況が山林の原野を今後どうするのか。

答 (産業建設課長) 調査をして、山林の地目に移行していく。

問 町有林は合計で約367ヘクタールと広大であり、町の予算で調査などする必要はあるが、計画や予算はどうするのか。

答 (産業建設課長) 指摘されたことを踏まえ、内部で検討したい。

問 長嶋町政を振り返って

答 議会と歩み寄りできず

問 これまでの事業や政策の進め方に強引な点はなかったか。

答 (町長) 『4、5人の同志が集ま

れば、町政を牛耳ることができると。町長を手のひらで転がすことができる。民意はその後だ』という松崎町議会の伝統的な考え方にはくみせず、町民の声なき声を生かしてきた。強引なやり方では議会は通らない。しっかりと話をしてきたつもりである。

問 道の駅直売所の件は生産物の確保、ずさんな収支を指摘されたが故に否決された認識はあるか。

答 (町長) 将来のことはわからない。100%でなくても70%の計画でいいから、とにかく進め、不具合が生じたら修正すれば良いと考えている。

問 指定管理者との協定書が煮詰まっていなくて、岩科診療所の修正設計の予算が上程されているがどうか。

答 (健康福祉課長) 工期などを考えると、

今期に上程するのが妥当。

問 協定書は煮詰まっていると考えているのか。

答 (健康福祉課長) これから議会や指定管理者と協議していく必要がある。

問 再三にわたる議会からの議案取り下げを無視して上程した副町長選任が否決されて以来、不在のまま予算措置だけされている。他に回す機会を逸したのではないか。

答 (総務課長) 副町長は探すということなので予算措置をした。

問 これまでに実現できなかった政策は残り2カ月で実現させるのか。それとも次期町長選に出て、その後のことを見据えているのか。

答 (町長) 2カ月あれば、最後まで挑戦するのが本意である。町長選については9月10日に発表したい。

問 ワクチン接種態勢は

答 集団接種、個別接種で



高柳孝博議員



迅速なワクチン接種に努めた。

個別接種は、町内1カ所の診療所の協力をいただき令和4年2月末まではワクチン接種を継続実施していた。多くのお願いでいる。

問 担当者との情報共有はどうしていたか。

答 (町長)

随時書面により報告を受け、また、簡易なものも口頭で報告を受けている。

問 3回目のワクチン接種の見直しはどうか。

答 (町長)

3回目の接種(ブースター接種)を行っている。または、計画している外国が出てきた。3回目の接種の必要性や時期などについては、国の判断により実施するものとなる。

問 KPIの変更は

答 適切に見直しを

問 ウイズコロナが長引いた場合、KPI(重要業績評価指標)と戦略の見直しが必要ではないか。

答 (町長)

KPIや戦略については、社会状況を見据えながら適切に見直していく。

問 創生総合戦略は

答 持続可能な町に

問 松崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、課題の真の要因を抽出することが必要ではないか。

答 (町長)

現有資源での限界を知り課題をあぶり出し、問題点に対応して、持続可能な町にしたい。

問 西伊豆健育会病院からの医師派遣の話はあったのか、断ったのか。

答 (町長)

西伊豆健育会病院から医師派遣について、町がお断りしたということはない。西伊豆健育会病院とは、1月下旬に医師派遣についての打ち合わせを行ったが、派遣は病院に研修医が来る5月になるとの話があったため、それを元に接種計画を作成していた。

問 医療従事者へのワクチン接種態勢、集団接種、個別接種の医師の態勢作りはどのように推移したのか。

答 (町長)

医療従事者へのワクチン接種は、県が実施主体で、西伊豆地区の医療従事者については、西伊豆健育会病院で接種を受けている。

集団接種は、賀茂医師会に協力をお願いし、週3日医師3名態勢を整える。



ワクチン集団接種の様子



町長の発言はどちらが正しいのか



深澤 守議員



問 発言が合わないが

答 松崎町だけだ

問 広報委員会において、ある議員から町長のワクチン集団接種の件で「その過程については知らなかった」との発言に、町民の皆様は誤解を招くので議会だよりに掲載しないで欲しいと要望があった。

町長の発言に問題があるから議会だよりから削除して欲しいとの要望であったと思う。

「議会日誌」問題の発端は、6月議会においての町長の答弁「その過程については、知らなかった」にある。

9月の議会では、ワクチン接種の過程について、「報告を受けていた。時には話し合いをしていた」だった。6月の答弁と先日の答弁では発言内容が違うがどちらが正しいのか。

答 (町長)

コロナというときに、このような問題がこのように形で出てくることについて、甚だ私は残念だ。

静岡県の市町でも、こ

のようなことでこういう質問が出てくるのは、我が松崎町だけだ。

問 長嶋町政について

答 全て実現できない

問 町長の政策の中で、道の駅直売所の計画は持ち続けているとのことだが、その具体的な方針は。

答 (町長)

前回の計画は、議会の賛同が得られなかった。今後、いろいろな方と話をしながらコンセプトは変えずに進めていきたい。

問 町長は、桜葉の再生を公約にしているが、衰退に歯止めがかからないのはなぜだと思つか。

答 (町長)

町が力を入れていないのではなく、高齢化と担い手不足が最大の原因となっている。現在、特別支援学校伊豆松崎分校の生徒にも協力をいたいただく、担い手の確保に取

り組んでいる。

問 過去の一般質問の中で町長は「公約が果たせなかったときは辞任する」という回答をしている。その考えに変わりはないか。

答 (町長)

そんな軽はずみなことは言わなかったと思うが、公約とは言っても、4年間で全て実現できる訳ではない。ただそれに向かつて努力している。

問 議会非難について

答 私は言っていない

問 町長は、自分の意に沿わないことがあると議会を非難する言動が目立つ。そのような状態では、正常な議会審議を行うことができないと思うがどうか。

答 (町長)

議会が「当局の言ったことを聞かない」と、私は言った覚えはない。議会軽視もしていない。

次の定例会は、12月下旬からの予定です。

議会のうごき

7月

- 8日 広報編集委員会
- 15日 議会だより132号発行
- 20日 行政調査委員会
- 21日 賀茂郡町議会議長会議（西伊豆町）

8月

- 19日 議会全員協議会
- 20日 下田メディカルセンター議会定例会
- 24日 下田地区消防組合議会定例会
- 30日 重要問題懇談会
- 31日 議会運営委員会・広報編集委員会

9月

- 3日 議員会勉強会
- 7～10日 第3回定例会
- 15日 静岡県町村議会議長会総会及び議長会議（静岡市）

表紙の写真「彫刻ラインの夕日」は文化協会写真部より提供。

発行責任者

議長 渡辺文彦

編集委員長

深澤 守

編集委員

田中道源
鈴木茂孝
小林克己
高柳孝博
藤井要
土屋清武

この人に 聞きました③⑩

三余農園
土屋 人さん



町内で活動している方を紹介するコーナーです。今回は、若手農業者で静大と進める「2030松崎ワークシヨップ」で「のう（農）とりよう（漁・狩）」のプロジェクトリーダーを務める土屋さんにお話を伺いました。

○農業人口を増加させるには。

新規就農者が参入するに際し、土地を借りにくいのが現状です。また、優良農地を後継者にどう

つなげていくかが課題です。そのためには、より一層の農地利用最適化推進委員のサポートが重要になってくると思います。

○今後の活動については。

現在、はちみつを作っていて、今後は柑橘のオイルやパウダーにも取り組んでいきたいと考えています。

さらに、温泉を活用し、熱帯果樹の生産にも取り組みたいと思っています。

また、「栄久ぼんかん」をさらに広め、より多くの方に松崎町に来ていただきたいと思っています。

○町へなにか要望はありますか。

鳥獣害対策の補助金はともありがたいのですが、規模が大きいところが、規模が大きいので、上限金額を規模によって変えるなど柔軟な対応を願います。

（聞き手 編集委員長）

海鳴り

9月議会にて「伊豆まつぎ荘」の指定管理者に松崎町振興公社が認定され、今後5年間、経営を委ねることになりました。

「伊豆まつぎ荘」の経営理念に、地域の雇用、地域経済への貢献を掲げていますが、人材募集をかけても集まらず、また地域から仕入れる物品については数量の面や価格の面において、今後の取引は減少傾向にあるとのことでした。

現在、コロナ禍で宿泊業は苦戦を強いられています。伊豆まつぎ荘は町の支援を受け、なんとか経営が続いている状態です。掲げた理念に反することなく、自立できる経営を期待します。議会といたしましては、毎年度の決算に注視しつつ、経営の後押しをしてまいります。町民の皆様のご支援もよろしくお願いたします。

（議長）